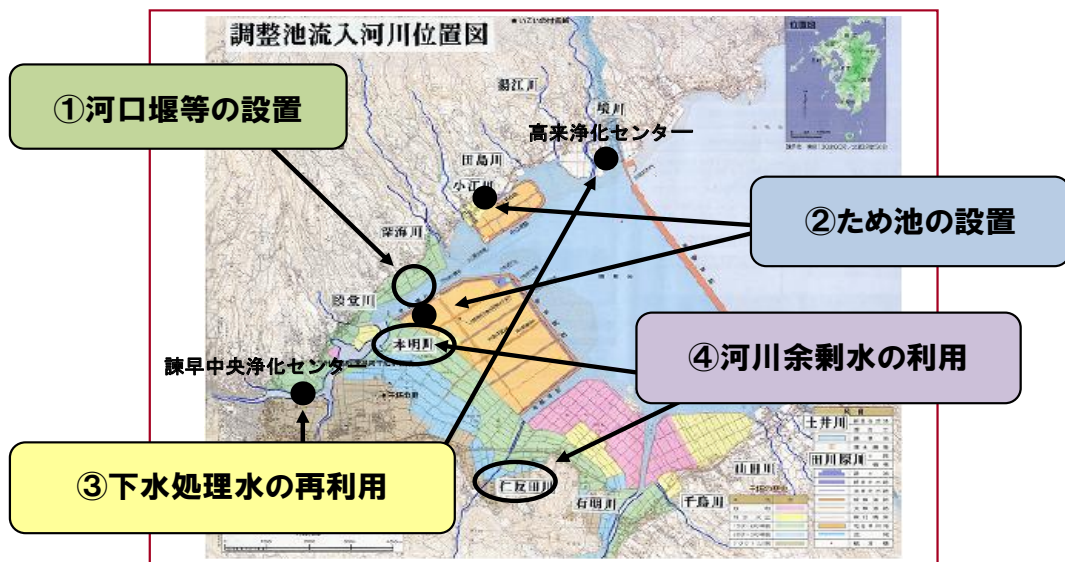


目指すは、干拓地農業と有明海漁業の共存

2008.5.22 発行：有明海漁民・市民ネットワーク

農業用水は調整池に代わる別水源を確保



- 農業者は、水質・アオコ・風評被害の不安から、解放されます。
- 漁業者にとっては、海水導入の条件が整います。

安心、安上がりの中長期開門計画

段階的開門

短期開門調査時より長い日数をかけて、海水導入・排水量を徐々に増加させながら濁りを慎重に沈めます。底泥は、現在と同様、排水と一緒に少しずつ流れ出していきますから、農水省が当初予定したような 400 億円もの底泥浚渫費用は不要です。

もぐり開門

海水導入量を更に段階的に増加させますが、ゲートの振動を生じない開度幅で実施するので安心。流速もまず、短期開門時の 1.6m/s 以下で開始。次第に 1.6m/s を超え、徐々にスピードアップしますが、万が一問題が生じれば、いつでも 1.6m/s に戻します。短期開門時には 3.8m/s の流速、大雨の大潮時にはそれ以上の流速が出ていたと思われるので、3m/s を超えても問題はないでしょう。

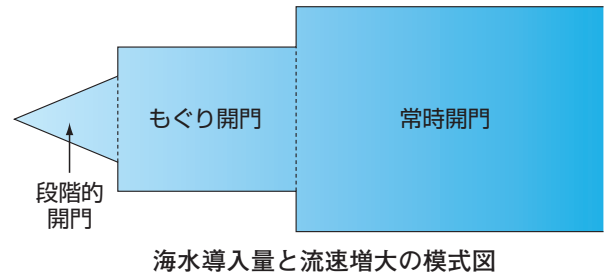
流速問題に係る争点

	農水省	漁業者側
開門による被害	水門周辺 1.6m/s 以上の流速で洗掘⇒漁業被害、水門施設安全性低下	実績は 3.8m/s 以上の流速⇒漁業被害や水門施設の安全性に問題なし
開門のための対策	被害防止に 600 億円以上の費用と 3 年の工期⇒それでも予期せぬ被害	1.6m/s 以上の流速が出てても問題がなかった⇒農水省の対策案は過剰
開門の効果	被害の出ない制限的開門では、開門の効果が開門時と変わらない	水位変動を短期開門の 20cm ではなく 120cm にすることが可能⇒効果も自ずと異なる 常時開門はもっと大きな効果
予期せぬ被害	短期開門時の湾内魚介類に被害	段階的開門を採用したのは予期したから実際に被害は出ていない

いつ大雨が降りだしても、計算上いつでも安全水位に下げることが可能な範囲なら、最高水位は0mでも1mでも問題ありません。これを中期間続ければ、調整池内の海水交換が短期開門より格段に捗り、一部で干潟が再生し、他方で湾内の水質や潮流も改善に向かい始めるでしょう。だから……

短期開門を上回る環境改善が図れます

環境回復傾向が進行する
うちは、そのまま、もぐり開門を継続します。



しかし、環境回復傾向が失速し、かつ回復程度が不十分な時は、常時開門を検討します。もぐり開門によって、その検討に必要な実測データも集まっています。

常時開門

常時開門とは、「非常時」以外は原則全開にする開門方法です。高潮が来て調整池水位より諫早湾潮位が高くなると予想される時は閉門します。

予報が外れて急に諫早大水害と同じ量の雨が降り、それが大潮満潮と重なってしまった時は、調整池水位は最大2.19mまでの上昇が予測されます。-1m管理をしていますが、その時は2.01mまで上昇します。その差が問題ならば、ポンプ場（約150億円）を新設しましょう。恒久的な湛水対策にも資するのですから。

流速も最大6m/sくらいになりますが、しかしその流速が発生するのは、水門の周辺だけで、そこは既に護床工と呼ばれるコンクリートで固められています。いまの護床工では面積が足りず、洗掘が心配ならば、必要な範囲で捨石工を施しましょう。それも安上がりの転石工（10億円？）で十分です。常時開門をやるには600億円もかかるという、農水省の宣伝はあまりにもオーバーです。「鳴門の渦潮」並みの流速は水門の周辺だけなので、それも大潮のわずかな時間だけ。それに対して今でも長いこと降り続く大雨を長時間排水する時には、速い流速が長時間続きますが、その汚濁排水が海面に浮上する頃には、流速も落ちて、湾内をゆっくりと流れていきます。それを考えれば、常時開門を実施できないはずがないのです。

すでに調整池に干潟が一部再生し水質は改善しています。常時開門を行えば、湾内潮流は5割が回復しますから、湾内で頻発していた赤潮や貧酸素は消滅し、底質も改善に向かい、湾内タイラギや魚類が復活します。短期開門の際に出現した潮目が示唆するのは、常時開門は有明海の流れをも変えて、もっと大きな好影響を広範囲にもたらすということ。調整池や諫早湾から流れ出る底泥もいずれは浄化され、有明海の底質悪化に歯止めがかかります。

常時開門に要する費用試算比較（億円）

	農水省		NGO
	2001年	2003年	
浚渫	400	0	0
護床工拡張強化	330	422	10
生物保護	0	1	1
ポンプ設置	9.9	200	150
ゲート改造	50	0	0
樋門改修等	0.6	2.2	1
防風ネット	0	5	0
侵入防止ブイ等	0	0.6	0
計	790.5	630.8	162

こうして開門を長期間続けることによって、**有明海異変からの本格的な立ち直り**が始まります。